



令和7年度 苫小牧市立勇払中学校 グランドデザイン

【勇払中学校区が目指す15歳の姿】

【北海道教育の基本理念】 自立・共生

【苫小牧市教育の基本理念】 未来の社会をつくるひとづくり

【勇払中学校教育目標】

生徒一人ひとりの
個性に応じた
「生きる力」の
育成をめざして

自ら進んで学習に
取り組む生徒の育成

自他の生命・人格を尊重
できる生徒の育成

社会の一員として行動
できる生徒の育成

勇払の伝統を受け継ぎ、さらに前進する生徒

【育成を目指す資質・能力】

学んだことを**活用し、実践する力**

- ・授業や家庭学習に意欲的に取り組み、主体的に学ぶ
- ・基本的な生活習慣を身に付け、けじめある生活を送ろうとする

他者とのかかわりの中で**共感し、自律する力**

- ・思いやり・寛容・感謝の心を持ち、自他の人権や生命を尊重する
- ・心身ともに健康で安全な生活を営もうとする

社会や世界の一員として**よりよい生き方を考え、協働する力**

- ・自らの在り方や生き方を考え、より良い人生を送ろうとする
- ・法やきまりを守り、より良い人間関係をつくる

【令和7年度の重点】 生徒の「よさ」を伸ばし、ウェルビーイングの向上につながる教育活動を推進します

授業改善→分かる授業を展開する

- ・共通取組事項(焦点化・イメージ化・視覚化)の徹底
- ・共通取組場面(見通す・決定する・協働する・振り返る)の設定
- ・ICT活用による効率化と生徒が思考する場面の確保
- ・AI型ドリルの活用による学習内容の定着
- ・レディネステストと学習会による学習の遅れ(躓き)の解消

【数値目標】 ※生徒アンケートで「よくあてはまる」と回答()はR6のデータ

- ・先生方は学習について、あなたに合った教え方で、わかりやすく教えている…70%以上(74%)
- ・授業などでクラスの仲間の考えを聞いたり、自分の考えをまとめて発表したりする場面がある…70%以上(74%)
- ・学校では一人一台端末のタブレットを有効に活用している…100%(89%)
- ・前の学年までの基礎的基本的な学習内容を身に付けている…70%以上(58%)
- ・復習や予習をするなど、家庭学習に定められた時間以上取り組んでいる…50%以上(27%)

主体性の向上→生徒に考えさせ、任せる

- ・自己表現や挑戦ができる集団づくり(学年・縦割り活動)
- ・互いの良さを認め、高め合える共感的人間関係の構築
- ・自己肯定感を高め、自立と自律につながる生徒指導
- ・地域の特色等を生かした体験活動の推進
- ・目的が明確で、生徒の発想を重視した特別活動の推進

【数値目標】 ※生徒アンケートで「よくあてはまる」と回答()はR6のデータ

- ・学校では、お互いを思いやり、励まし合い、高め合う機会がある…70%以上(53%)
- ・学級活動や委員会活動で、自分の役割に責任を持ち、自主的に行動している…70%以上(63%)
- ・授業では、様々なことを体験して深める機会がある…70%以上(79%)
- ・学校行事に積極的に参加している…70%以上(68%)
- ・授業では、地域の人に教えてもらったり、地域の人と一緒に活動したりする機会がある…70%以上(74%)
- ・自分にはよいところがある…70%以上(53%)

不登校対策→登校できなくても外界とつなげる

- ・いじめ根絶集会を核とした正義感、道徳的実践力の向上
- ・不登校の早期発見、早期対応のための校内連携(校内教育支援センター(SR)、オンライン授業、SCの活用)
- ・関係機関との連携(SSW、教育支援センター、フリースクール、いわゆる第三の居場所)

【数値目標】 ※生徒アンケートで「よくあてはまる」と回答()はR6のデータ

- ・学校生活は楽しい…70%以上(68%)
- ・学校では、学習や生活のことで、先生方に質問したり、相談したりする機会がある…70%以上(47%)
- ・道徳の時間などで、いじめをなくし命の大切さ、社会のルールについて深く考えることがある…100%(84%)
- ・(いじめ調査)いじめはどんな理由があろう許されないと回答…100%(86%)
- ・(その他指標)不登校出現率(累積30日、連続7日以上等)…前年度より改善する(34%)
- ・(その他指標)不登校における校内外で相談・指導等を受けていない生徒数…0名(0名)